

令和元年度行政評価結果（後期基本計画 第6章第6節「就労支援」）

施策の位置付け	6	章	活力あるにぎわいのまちづくり	6	節	就労支援
---------	---	---	----------------	---	---	------

■①施策に係る事業

No.	事業名	進行管理部会評価(令和元年8月26日開催)				市民意見	理事者評価	
		重要性 (平均)	手法の妥当性 (平均)	部会委員意見				
1	具体的施策No.293 雇用啓発事業 (商工観光課)	非常に 高い	非常に 低い	非常に 高い	非常に 低い	・企業に訪問された時の生の声も聞かせてほしい。 ・100を超える企業を回ったことで、得られた知見を市民にも広報してはどうか。 ・定期的な企業との懇談はぜひ継続してほしい。	・亀岡市がネットワークプロバイダとなり、「東京よりも高速で、安価なインターネット接続環境」を作り、IT関連企業を誘致する。市民はネットによる在宅の起業が可能になる。 ・京都市との公共交通による移動を便利にする。JRの車両増設、午前7時から午後7時までの間少なくとも1時間に5,6本の電車を運行。その内2便は新快速として亀岡、嵐山、二条、京都を停車駅として京都へ15分でつながるようにする。 ・道路網：縦貫道は大山崎―園部間を無料化する。9号線は少なくともダブルルート化する。大阪へは423号線を幅員拡充し池田への時間短縮を図る。これらのハード面での充実により亀岡への起業(企業)誘致を図る。雇用も促進される。 ・市内在住者で、市外勤務者が多いと感じる。雇用者所得を保ち、地域内での経済循環率を向上させる施策を実施していただきたい。 ・定期的に訪問を実施されているようだが、成果は出ているのか。	従業員数や経営状況等を記した企業台帳を整理し、有効活用することで、情報の共有を図る。
	2	具体的施策No.294 就労支援事業 (商工観光課)	非常に 高い	非常に 低い	非常に 高い	非常に 低い	・亀岡市でも就労支援事業が実施されていると知り、熱心だと感じた。告知を幅広く行えば、もう少し集まるのではないかな。	・就職者情報についてハローワークで確認できるが、亀岡駅前やガレリアかめおか内に情報センターを設置して相談員も確保され、積極的に活用できる場所が必要と感じる。求職者の目線での情報発信、提供を望む。事例として、他市の商店街の中に「しごと相談センター」のような機関を開設され、市職員も常駐されている。是非、亀岡市も研究して、参考にしていきたいと思います。
3	具体的施策No.295 雇用促進事業 (商工観光課)	非常に 高い	非常に 低い	非常に 高い	非常に 低い	・企業社員、職員人権講座について、年1回では参加できない方もおられるため、年2回でも良いと思う。	—	人権教育講座の開催方法や回数等について、人権啓発課と協議し整理していく。
4	具体的施策No.296 就労支援事業 (商工観光課)	非常に 高い	非常に 低い	非常に 高い	非常に 低い	・広報について、幅広い分野、範囲でされれば良いと思う。 ・職業訓練所等の施設の充実を図るべきではないかな。	—	—

施策に対する市民意見	特になし。
施策に対する進行管理部会委員意見	・雇用促進や就労支援については、法人格を限定するべきではない。 ・これまでと雇用状況が変わってきているため、雇用・就労の支援の新しい形を研究してほしい。 ・中高年の引きこもりなどにも焦点をあて、福祉部門と連携するなどし、援助できる体制が整えばと思う。 ・今後も京都府や国との更なる連携が必要である。また、企業の内容や求める人材の具体的な内容が手軽に入手できるような情報提供も重要になってくる。
＜施策＞改善すべき点	・就労支援の事業の位置付けとして、市が行うべきものなのか検討が必要ではないか。
＜施策＞今後の方向性	・就労支援について、市の関わり方や事業の位置付け等を整理し、事業を展開していく。